

## 第27回 中央防災会議 議事要旨

(開催要領)

1 開催日時： 平成23年4月27日(水) 17:15~17:45

2 場所： 総理大臣官邸2階小ホール

3 出席委員：

会長	菅 直人	内閣総理大臣
委員	松本 龍	内閣府特命担当大臣(防災)・環境大臣
同	野田 佳彦	財務大臣 (代理：桜井 充 財務副大臣)
同	片山 善博	総務大臣・内閣府特命担当大臣(地域主権)
同	江田 五月	法務大臣
同	松本 剛明	外務大臣
同	高木 義明	文部科学大臣
同	細川 律夫	厚生労働大臣 (代理：大塚 耕平 厚生労働副大臣)
同	鹿野 道彦	農林水産大臣
同	海江田万里	経済産業大臣
同	大畠 章宏	国土交通大臣
同	北澤 俊美	防衛大臣 (代理：松本 大輔 防衛大臣政務官)
同	枝野 幸男	内閣官房長官、内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方政策)
同	中野 寛成	国家公安委員長
同	自見庄三郎	内閣府特命担当大臣(金融)
同	蓮 舫	内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全、行政刷新)
同	与謝野 馨	内閣府特命担当大臣 (経済財政政策、少子化対策、男女共同参画)
同	玄葉光一郎	内閣府特命担当大臣(「新しい公共」、科学技術政策)
同	白川 方明	日本銀行総裁
同	近衛 忠輝	日本赤十字社社長
同	松本 正之	日本放送協会会長
同	三浦 愷	日本電信電話株式会社社長
同	阿部 勝征	東京大学名誉教授
同	田村 圭子	新潟大学教授
同	泉田 裕彦	全国知事会災害対策特別委員長(新潟県知事)
同	渡邊 茂治	日本消防協会理事

※ 近藤昭一環境副大臣(環境大臣代理として出席。)

(議事次第)

1 開 会

2 会長発言 (内閣総理大臣)

3 議 題

(1) 「東北地方太平洋沖地震—東日本大震災—の特徴と課題」

説明：阿部 勝征 (中央防災会議委員：東京大学名誉教授)

(2) これまでの地震・津波対策について

(3) 今後の進め方について

4 閉 会

(配布資料)

資料1 「東北地方太平洋沖地震—東日本大震災—の特徴と課題」

資料2 「これまでの地震・津波対策について」

資料3 「今後の進め方について」

(会議概要)

1 開 会

冒頭、東日本大震災でお亡くなりになった方々に対し、出席者全員で黙祷を捧げた。その後、指定公共機関代表者の委員、学識経験者委員が紹介された。

2 会長発言 (内閣総理大臣)

菅内閣総理大臣から、今般の東日本大震災が、これまでの中央防災会議において想定していた地震をはるかに超える規模と被害であったことを踏まえ、これまで十分な備えがあったのかどうかということも含め、防災対策のあり方をもう一度しっかりと検証し、見直しを行っていく必要があるとの発言があった。

3 議 題

(1) 「東北地方太平洋沖地震—東日本大震災—の特徴と課題」

説明：阿部 勝征 (中央防災会議委員：東京大学名誉教授)

○ 阿部委員 (東京大学名誉教授) から、議題 (1) について、資料1に基づき、説明があった。

(2) これまでの地震・津波対策について

○ 阿久津内閣府大臣政務官から、議題 (2) について、資料2に基づき、説明があった。

(3) 今後の進め方について

- 松本龍委員（内閣府特命担当大臣（防災））から、議題（3）について、資料3に基づき、説明があった。
- 意見交換では、全国知事会災害対策特別委員長の泉田委員から、自然災害と事故災害を全体としてカバーしていくような法体系を政府において検討して欲しい旨の発言があった。また、東内閣府副大臣（防災担当）からは、津波の来襲する方角について阿部委員に対し質問があった。さらに、新潟大学教授の田村委員から、地震・津波学などに基づき算出した被害想定などの知見を地域住民とのコミュニケーションにより共有していくことが重要である旨の発言があった。
- 以上の説明の後、中央防災会議として、議題（3）中の「『東北地方太平洋地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会』の設置について」について、決定することとされた。

(以 上)